

2020年6月22日

一般社団法人 壁装研究会  
会 員 各 位

一社) 壁装研究会  
会長 前田光弘

## 研修会「デジタルプリント壁紙の現況」開催のお知らせ

拝啓 平素は当会事業にご高配賜り誠に有難うございます。

早速ですが、繰り延べとなっておりました「デジタルプリント壁紙の現況」についての研修会を下記要項にて開催いたします。

新型コロナ対応型研修会として3蜜を避ける等を勘案し、同日2回に分けての開催を予定しています。(申し込み状況によっては3回に分けます)

厳しい状況の中ではありますが今後の各位のお仕事、また壁装の現況把握の一助になれるものと考えます。お繰り合わせの上御参加をお願いいたします。 敬具

### — 記 —

- 開催日時 2020年7月28日 火曜日  
Aグループ 13:30~15:00  
Bグループ 15:30~17:00
- 開催場所 リンテックサインシステム(株)中野ショールーム
- タイムスケジュール 各組共通 デジタルプリント壁紙の現況について 30分  
リンテックサインシステム(株)小島社長  
プリント機器、出力現場の見学 60分

### ※開催記 7月28日

27名の申し込み(当日2名欠席)を得て開催。

リンテックサインシステム(株)小島社長による現況説明では、『インテリアは「選ぶ」から「創る」時代へ』テーマに、現在販売されている人気機種・メーカー、及びその特性など、またヨーロッパ・米国を始めアジア各国でのデジタルプリント壁紙の上梓、使用状況など、個別事例を交え詳しく報告された。

機種開発にあたっては、各社プリントのシェープさ、色の再現性の高さ、また環境配慮等数々の機能を備え格段に進歩している点、また出力スピードも量産に耐える速さとなってきている。

デザイン性においても、グラビア印刷+フレキソ印刷+ジェットプリントの組合せ、また同調エンボス表現等多様化しており、ユーザーの趣向を十分に満足させえるものとなってきている。

これらの多くは日本の技術であり、日本のメーカーの製品であるが、残念ながら欧米他海外の壁紙メーカーと比べると日本国内では著しく低迷している。

今後の国内展開の中では、グラビアプリント等大量生産品と共生していくことが重要。

小ロット生産の優位性、簡便性を生かしたきめ細かな対応。ユーザーに広く知らしめると同時に、インテリアの提案力のあるデザイナー・インテリアコーディネーター、設計士等に、商品紹介と同時にシステムの紹介をしていく。

また、防火性等日本の建築基準にあった適格品の取得、提供により住宅他巾広い空間への仕様推挙の告知活動が必要では、といった提言があった。

出席者各位は、想像以上にデザイン性、色の再現性、出力スピード等が進んでいる点、世界では従来品との共生、また製法的にもグラビア印刷などとのハイブリット化が進んでいる点等学ぶ点が多々あったと感じた様子であった。

